

現業評議会ニュース VOL.31

第3回担い手育成 連続講座

現場課題を把握し みんなが笑顔になれる社会を

現業評議会は、8月11日から12日にかけて広島県内で第3回担い手育成講座を開催した。担い手育成連続講座は、第1回を福島県、第2回を東京都、また現業政策集会にも参加し、第3回が最後の講座となる。第3回では人権や労働安全衛生、会計年度任用職員の課題などを学び、また平和学習として、被爆を語り継ぐ会の畑口さんを講師に招き、当時の状況や平和の尊さを学んだ。その後、広島県本部による平和公園内のフィールドワークを行い、最後に小迫議長から修了証書が渡され、全ての講座が終了した。



グループワークでは、現場実態を共有し、課題解決にむけ議論した（上）

1日目は人権課題として、なぜ人権に取り組むのかについて学び、特に自治労の運動方針の項目について、具体的な実践を提起した。

労働安全衛生の課題については、現場での発生事例をあげるとともに、労災の状況として清掃員、調理員の割合が高いことから、当局責任のもと、現場から安全衛生委員会の開催など、法令遵守していくことが重要と述べた。

（写真右）
議論内容を発表する参加者



会計年度任用職員の取り巻く状況では、会計年度任用職員制度の導入経緯や処遇について学習し、現業評議会としての処遇改善や組織化にむけた取り組みを提起し、必要性を訴えた。講座後には「会計年度任用職員の組織化にむけ」をテーマにグループワークを実施。グループワークでは、参加者の現場実態を話し合い、講座を踏まえ、どのような取り組みが現場から実践できるかについて議論を行い、発表を行った。

「現業評議会 動画まとめ」の活用を

現業評議会では、2021年11月に開催した現業セミナー以降の集会や講演をはじめ、現業・公企統一闘争推進動画、国会質疑などの動画をいつでも視聴できるように「現業評議会 動画まとめ」のサイトを作成しています。

県本部や単組での学習会に使用したり、気になる箇所だけをチェックするなど、様々な場面で利用可能です。QRコードからサイトに移動します。取り組みの強化にむけ、是非とも周知と活用をお願いします。



平和な未来にむけ、ひとり一人が行動を

2日目は、平和学習として「被ばくを語り継ぐ会」の畑口さんを講師に招き、「戦争をさせない国をめざして」と題した講座を実施した。

畑口さんは、第2次世界大戦が起こった世界背景を説明し、母親から聞いた当時の状況について詳しく述べた。また、畑口さんは胎内被爆者であることを嫌に思い、昔は周りに伝えることができない感情を述べつつ、平和記念資料館の館長を務めていく中で心境が変化し、平和の尊さを伝えるため、国内外に被爆の実相を伝える活動を行っていることを参加者に伝えた。



参加者は、広島県本部現業公企評議会、青年部の協力のもと、ピースウォークとして平和公園内のフィールドワークを実施した。最後に小迫議長の全体まとめがされ、参加者には全ての講座を終了として修了証書を手渡し、すべての講座を修了した。



現地で当時の状況を学ぶ参加者



ウェブ学習会2 職場改善にむけ

現業評議会は9月13日（水）18時からウェブにて学習会を開催する予定。現業・公企統一闘争の第1次闘争集約結果では、多くの単組（評議会）が規約の点検・整備が不十分であったことから、第2次闘争に取り組むにあたり、規約の重要性について学習していく。また、中間総括をふまえ、第1次闘争で勝ち取った成果などを共有し、取り組みの強化をはかるので、多くの参加をお待ちしています。

8月2日の（自治労発2023第0975号）発文をご覧ください。